

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

表紙は語る

梅雨の晴れ間に子どもたちの笑い声と大人の掛け声が響く。新島小学校のある日の放課後。今年6月から放課後子ども教室事業の試験的实施として、毎週金曜日に生涯学習コーナーネーター2名・スタッフ・高校生が参加している。ワンポイントレッスンによって遠投の記録が伸びたり、ヨガでストレッチした

り、遊びにひねりを持たせつつルールを守ることで他学年交流を促したりしている。動き疲れた児童は朝礼台や軒下で思い思いに折り紙・編み物・ボードゲームなどに興じていた。児童の参加者も当初は20名程度であったが、今では40名を超える盛況ぶりである。子どもを受け止めつつ、その可能性を広げる活動に期待したい。

山本均 議員



真に村のあるべき姿は？

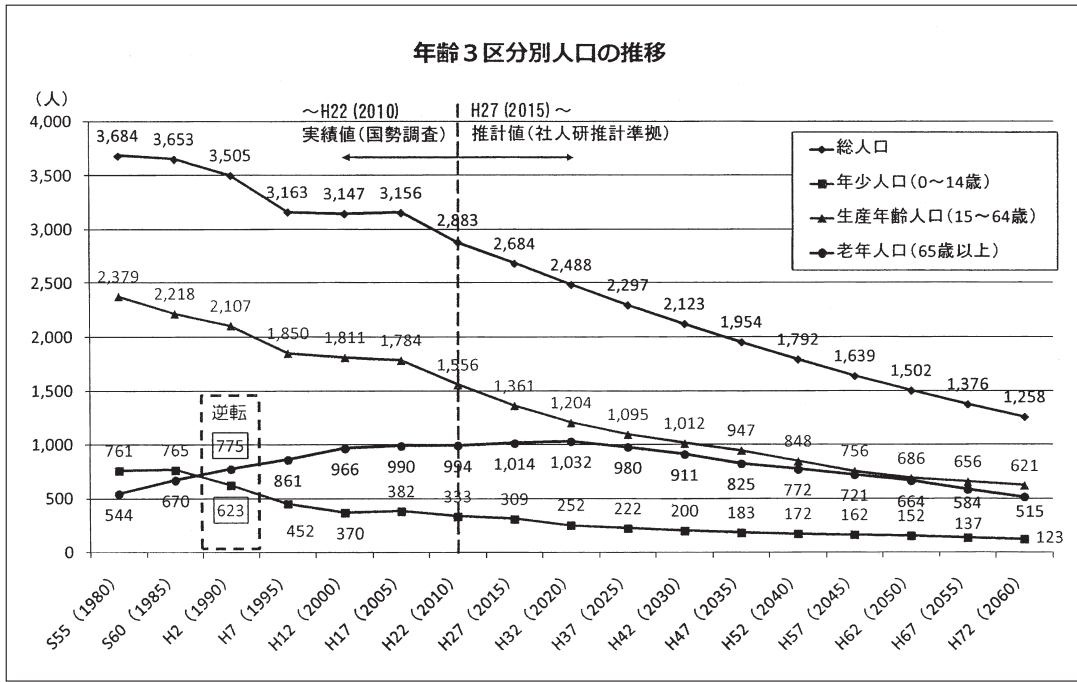
問 新島村の良さ、魅力を追求し自

覚した上で、そこを新たな出発点として再生していくべきではないか？

答 新島村の持つ固有の資源（自然、歴史、文化、風俗など）

を大切に保護し、活用していくことが肝要である。今後、観光を中心として交流人口の増加や商工業の活性化を目指して稼げる力をつけることが大事だと思っている。





(出典: まち・ひと・しごと創生 新島村総合戦略)

問 総合戦略の具体的事業は？
 今後、総合戦略の事業を行なっているのか？

答 いく上での作業工程はどうなっているのか？
 現在、実施している事業や今後計画

していく事業は村の五年計画に落とし込んでいく。その中で総合戦略に位置付けられる事業は、既存事業も含め横串で捉えなければならぬ。

問 総合戦略に取込んで補助金の獲得を目指す具体的事業としてどのようなものを考えているか？

答 補助金うんぬんは国の具体的な補助事業メニューは一部を除き、はっきり示されていない部分があり、今後の国の動向、情報を注視し、適切に対応していく。

夏の観光対策はいかに？

問 この時期、恒例となった夏の観光対策はどのように実施するのか？

答 夏の観光は重要であり、その戦略として観光客を誘致するためのPR、来島後は楽しみ・くつろげ・癒され・安らげる受入れ体制を整えていく。

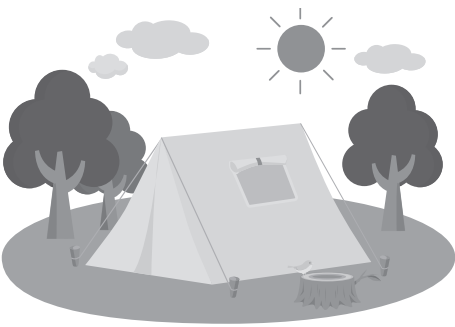
海その他、山々の美しい風景を堪能しながらのトッキングやサイクリング、ゆったりとくつろげる温泉、島の歴史の探索、大自然の中のキャンプ、美味しい特産品、人とのふれあいなどのメニューをリンクさせ、満足してもらえるようにする。

いかにして高齢化社会と向き合うか？

問 新島村も高齢化社会は言葉だけではなく、現実のものになっている。村はキメ細かく現実を見据えた方策を考えるべきではないか？

答 村では社会福祉協議会に委託し、高齢者や障害者に送迎サービス・配食サービス・訪問相談等を実施している。独居高齢者、高齢者世帯等の見守り活動も民生児童委員を中心に関係機関と協力し、きめ細かい対応を心掛けている。

今後も現在の福祉サービスを継続し、地域の支えあいの体制を推進するため、ボランティアの活用も検討したい。



前田 卓秀 議員



オリンピックサーフィ
ン招致について

問 具体案はあるの
か？

答 先月26日（5月26日）IOCのコー
ツ副会長が「サーフィ
ンは千葉の可能性が最も高
い」と発言した。村とし
ても、この発言には困惑
しており、早速、東京都
町村会を通じ、新島を会
場として選定していただ
けるよう、組織委員会及
び東京都に対し、再度、
強く要望し、要望書の提
出を調整中です。

今定例会に補正予算と
して計上したサーフィ
ンのPRDVDの作成と、
誘致のための広告を出し
たいと考えている。
ひとまずは村とNSA
新島支部との連携で活動
していくことを考えてい
るが、状況に応じて近々
に招致委員会を立ち上
げ、対応していく。



木村 諭史 議員



平成27年度住民要望へ
の対応について

問 住民要望の回答書
の総括と進捗を問う。

答 要望222項目に
対して、27年度対
応済み41件（18・5％）、
28年度6月現在対応済
み16件（7・2％）、28
年度中に対応予定21件
（9・4％）、管轄機関
への要望済み16件（7・
2％）、対応協議中75件
（33・8％）などとなっ
ている。広報等での進捗
の報告も検討していく。

新島村全体での戦略的
人材育成・確保・需要
見通しの共有の提案

問 新島村全体で必要
とされる事業に対
応できる各種有資格者を
把握すること（個人情報
なので希望者から募集す
る）、産業団体含めて

『このような人材を必要
としている、数年後にも
必要となりそう』など、
一括してホームページ等
で情報共有してはどうか。
ーターン、Uターンの
や島民の積極的な資格取
得も推進できるのでは？

答 村役場のそれぞれ
の職場で人材確保
を個別に行っているもの
の、村全体で必要とされ
る事業に対応できる有資
格者の把握や一括して
ホームページ等で情報を
発信・共有する体制は整
備していない。今後個人
情報に配慮しつつ、有資

格者の把握および人材確保の方法などについて検討していきたい。

個別事業の成果を新島村全体の戦略につなげていく提案

問 自発的で持続可能な観光振興・地域振興が芽生えているが、新島村全体の戦略に組み込んでいくことが重要ではないか。行政や議会も視察に赴く、各種広報媒体で情報公開、地方創生の総合戦略の事業成果としての体系化、いくつかの事業の合同報告会開催など、いかがか？

答 第九回目の新島ウエディングを拝見したが、新島村のイメージを良くし、PRにおいても最適な方法であると思った。各種の広報媒体を活用し、様々な情報を発信し、村内で情報を共



有することは住民にとっても意義があり、事業の成果を高め次に繋げていくことは重要。今後の課題として検討していく。

新島トライアスロンの事業成果と改善提案について

問 実施の成果、コスト、意義、将来展望について伺いたい。運

望について伺いたい。運

営におけるボランティアに対するケアを問う。島民枠を拡充・募集方法の柔軟化・島民選手紹介の配布などで、応援甲斐を高めるのはいかがか？

答 トライアスロン大会を開催する主目的は観光客の増である。

ボランティアは実行委員会から各団体にお願しているが、決して強制ではない。多くの先輩方や島民の方が支えてくださったおかげで、今や絶大な人気を誇るイベントに成長したと感じている。気持ちよく手伝っていただくためには、私たちが丁寧の説明をお願いしていく。

特別支援教育のアンケートの進捗

問 新島小学校・中学校での特別支援教育の固定級一通級を利用

した世代の生徒が高校受験可能な時期が近づいている。前回の定例会では保護者を対象にした進学の意向調査を提案し、教育長もぜひアンケートを実施すると答弁したが、現状を共有したい。

答 アンケートと協力依頼文書を作成しつつ、実際に利用されている保護者と個別に面談しながら趣旨や目的を説明し、意見を伺ったうえで、特別支援学級に入級されている児童・生徒の保護者全員にアンケート用紙を直接届け、当月末までの回答をお願いした。内容は現状把握・これまでの特別支援教育に対する評価・学校および私共への要望・現時点での子供の進路についての意向・将来への不安・自由意見となっている。